



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功
副会長 舟田 正夫
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

高田一彦

わたしたちは見えるものではなく、
見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、
見えないものは永遠に存続するからです。

(コリント信徒への手紙Ⅱ 4章18節)

なり頻繁にきます。

用心していますが、ウィルスの完全防御ができていないかとの不安は常にあります。

ネットでどこかのホームページを視ていると、突然パソコンに「あなたのパソコンがウィルスに感染しました」と表示され、アラームが鳴り、修理先の電話番号が表示されました。再起動するなどの警告も表示されています。

「どうしよう」「誰、何処に相談しよう」と迷ったあげく、ネット接続を切り寝てしまいました。夢にもウィルスが出てきました。翌日、おそろおそろパソコン電源を入れるとネットもメールも平常通り使えるようになっていました。

もちろん予防注射はしていますが、わがパソコンはウィルス感染があるのかどうか不安を覚えながら、そのパソコンを使ってこの原稿を書いています。私たちが便利とする手段は詐欺師にとっても便利であることを肝に銘じますが、手段のスキルが彼らの方が多分上でしょう。困ったことです。

ひとこと

「ウィルスにご用心」

松島 美一



パソコンでのメールのやりとりは生活に必須不可欠になりました。郵便より迅速に、簡単に、特別な出費なく、一度に多くの人への通信ができます。

便利さの一方、迷惑や有害なメールも増え、高度化してきたようです。外国語で、時に日本語でHなことや、いかがわしい儲け口を伝えてくる分かりやすい単純なメールも依然ありますが、郵便局、日通、ヤマト運輸、マイクロソフトからのように装い(多分ウィルスが潜んでいる)添付文書を開けさせようとするメールもか

＜2017年4月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
19名 (功労 会員1 名を 含む)	メン 13名 メネット 2名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 2名 合計 17名	72 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<5月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
26	金	14:00	横浜クラブ第二例会	上郷森の家
26-27	金	15:00	第一例会兼一泊研修会	上郷森の家
27	土	17:00	横浜YMCA会員総会	湘南とつか

「4月例会報告」

舟田 正夫

日時：4月13日（木）18:30～20:30

場所：中央YMCA 501号室（司会：高田ワイズ）

出席者：青木、伊藤、伊、大高、押川、金子、神村、伊、伊、
古賀、齋藤、高田、野村、舟田、古田、松島

（ゲスト）市川達也氏、（ビジター）朝沼準一朗氏

1. 開会点鐘および挨拶 金子会長
（挨拶の中で、藤沢さん、高杉さんの近況について話があった。）
2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
3. 今月の聖句 古賀ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 金子会長
・横浜銀行総合企画ブランド・CSR推進グループ
グループ長 市川達也氏
・YMCA本部事務局IT担当 浅沼準一朗氏
5. 食前感謝 古賀ワイズ
6. 食事 全員
7. 卓話 「横浜銀行のブランディング・CSRについて」
横浜銀行総合企画ブランド・CSR推進グループ
グループ長 市川達也氏

横浜銀行ではCSR（企業の社会的責任）を環境・子ども・地域の3分野を中心に次のように実施している。

- 1) 「環境」では紙の通帳を発行しない無通帳口座「マイスマート通帳」に切り替え、削減額の一部で植林活動の実施、またソーラーローンにも力を入れている。
- 2) 「子ども」では「CSR私募債～夢みる未来」で私募債発行金額の0.2%相当額の「子ども達の夢みる未来を応援する物品」を購入し、学校へ寄贈する仕組みを実施。どこへ寄贈するかは私募債の発行企業が選べる。また、子ども宇宙科学館のチケット提供キャンペーンでは子どもに「体験する機会」を提供している。
- 3) 「地域」では箱根を感じるキャンペーン、横浜DeNA

ベイスターズ応援、元町チャージングセール、重慶茶楼本店 会計10%オフ、六次産業支援など幅広い



卓話中の市川氏

く活動を実施している。

- 4) 東日本銀行との経営統合により地域経済発展に更なる貢献をする。
8. ビジネス・報告 金子会長
- 1) 行事予定、協議・報告事項の説明があった。
- 2) 高田ワイズから千葉クラブへの転会の挨拶があり、6月8日（木）第1例会時に送別会を予定する。
9. *Happy Birthday*(3月分) 金子 功、金子久子、高田一彦、古田和彦
10. 閉会点鐘 金子会長
(ロバ献金 13,804円)

第3回東日本区役員会報告

金子 功

第3回東日本区役員会が4月8日（土）～9日（日）埼玉県川越市伊佐沼の「えすぼわーる伊佐沼」で開催された。第3回役員会では次年度の区役員の出席が求められ全員で38名の役員が参加した。但し、議決権者は15名であった。筆者は次期部長として参加した。

初日は、理事、事業主任、各常置・事業委員会委員長、部長による今年度の現状報告、ならびに、次期事業主任と次期部長がそれぞれ分かれて次年度の方針を話し合うセッションであった。次期部長には、3月に行われた次期クラブ会長・次期部役員研修会において提出した事業方針の説明が求められた。二日目は、12項目にわたる議案の審議であった。特記すべき承認事項は：①第22回（2019年）東日本区大会ホストクラブを立候補している東京サンライズクラブにすること；②第28回（2019年）アジア太平洋地域大会開催地として立候補すること；③東日本区定款改定案（前文の一部を訂正）；④2017年-18年度理事方針及び行事予定；他の項目については議事録の報告を待つことにする。

夕食懇親会は興に乗って事務所長の小山ワイズが司会を買って出た。参加者全員にワイズ以外のことで自己紹介をせよと言う。日の丸を背負って世界大会に参加した者、たまたま車に積んできたと披露した刀剣の趣味の持ち主、火縄銃保存会の重鎮、尾瀬沼の案内人等々、参加者の理解を深める楽しい夕食会であった。夕食会後は宿泊所の「えすぼわーる伊佐沼」の側を流れる川沿いの桜が満開でそぞろ歩きに出かける者、「花より・・・」と夜の川越の町に繰り出す者等お互いの懇親を深める楽しい一泊研修の役員会であった。

湘南・沖縄部からは若木部長（とつか）、東日本区定款改訂委員長の辻剛ワイズ（つづき）、LT委員の北村文雄ワイズ（厚木）、次期部長の金子が参加した。

「命あるものすべてに」

古賀 健一郎

最近、「生まれてすぐ捨てられていた子猫＝『命あるもの』を、なんとか助けようと、すぐに獣医さんに連れて行き飼育方法を教わり、人工授乳で育てました。」との友人の話に心打たれました。私の知人のひとは、被災猫救済運動に加わり、福島の子猫を育てています。

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

またある方は、捨てられて瀕死の状態であった犬を育てました。必死の看護の甲斐あって元気な犬に育ちました。ある時、助けた飼い主に腫瘍ができ、がんの宣告を受けました。その後奇跡的に、彼女の悪性の腫瘍は消えました。ところが助けられた犬に腫瘍ができ、しばらく経って亡くなったそうです。飼い主の方は「きっと私の身代わりになってくれたと思う」と涙ながら話されました。

科学で解き明かせない『何か』があると思います。私にはひとり息子がいて、自然科学部門のある研究テーマで、大学で研究生生活を送っていました。なかなか（実験での）研究成果が出ず、長く苦悩の日々が続きました。そんな時、我が家の愛犬が彼を励まし続けてくれました。

最終的には博士号を取得し、現在はある企業の研究員として埼玉にいます。時々息子が我が家に帰ってくると、ふたり（ひとり犬）は、まるで恋人同士のように、再会の時間を過ごしています。私は『命あるものすべて』に慈しみを覚えます。



皆様、時には愛すべき“ペット談義”でもしませんか？

（追記）我が家の愛犬はメスのシーズー犬です。13歳。名前は『オードリー』です。私は『アイフルのCMの犬の物語』と全く同じように、この犬に一目惚れでした。私の好きな女優『オードリー・ヘップバーン』の名からとりました。彼女は名女優であり、晩年ユニセフ（国連児童基金）の親善大使として、ソマリアの飢餓地帯の子らを救う活動もしました。彼女の考え『手の一つは自分自身の為、第二の手は他人を助けるためにある』に共感を覚えるの命名でした。

「近況報告」

大江浩



4月、桜舞い散る季節となりました。日本YMCA同盟は、この春から神崎清一新総主事のもと、「日本YMCA中期計画2020（2017-2020）」を歩み出しました。

「日本YMCA中期計画2020」は、オールジャパンYMCAの中期計画として、神崎総主事と田口努全国YMCA総主事会議会長と二人三脚で、全国各地のYMCAの協力を得て推進していくものです。中期計画と“両輪”である新ブランディングの核となるコンセプトが“ポジティブネット”であり、新しいバリュー（価値）は「つながる・みつかる・よくなっていく」です。ワイズの皆さんと共に進めていきたいと思っています。

4月14日と16日は、熊本震災1周年です。自らの体験として、阪神大震災1周年を思い起こしています。震災1周年は一つの節目。心身ともに疲れ果て、「希望」という名の出口が見えない、暗闇のトンネルを歩む毎日でした。

当時所属していた神戸Yの再建問題も大きな困難を伴いました。熊本Yのスタッフの半数は被災しつつ震災支援に力を尽くしました。しかし人は皆、限界ある存在。熊本Yの働きは内外に高く評価されていますが、使命感に燃えるスタッフ

だからこそその特有のストレスが癒されることを切に祈っています。熊本の今は、「過去」となっている東日本大震災の被災地で支援を続ける現場の方々の苦悩にも共通します。震災は「現在進行形」です。私たちは、祈りつつ人々と共に歩みたいと思います。

今週は受難週です。世界各地で燃え盛る分断と憎しみの炎によって、平和が風前の灯状態です。シリアは最悪の事態を迎え、無辜の市民や幼子たちの惨劇を目の当たりにしています。愚かな争いを繰り返す私たちを、主よ、どうぞ憐れんでください。しかし、私たちは一筋の希望を捨てません。“十字架のイエスの復活”という奇跡を知る私たちはいかなる受難にも「一筋の希望」を心に刻みつつ生きていきたいと思いません。

「ベ이스ターズ応援」

松島 美一

「横浜YMCAと一緒に横浜DeNAベ이스ターズを応援して、熊本・東北に笑顔を送ろう」。年1回の復興支援ナイトも今年で5回目、相手はヤクルト・スワローズ。前回まで



応援の松島、田口、金子ワイズ

は真夏に行われました。今年は熊本地震1年に合わせて、野球シーズン開始直後の4月14日。天候には恵まれましたが、更けてから夜風が身にしみました。

始球式と選手代表への福島民芸品の贈呈は神奈川県へ避難している福島の子供たちがグラウンドで行い、励ましの拍手を浴びました。バックスクリーンにはYMCAの復興支援活動の映像が流れ、観客に「震災を忘れない」ことをアピールしました。

試合は1回裏、DeNAは桑原が先頭打者ホームランを打ち、幸先良いスタートでした。その後はヤクルトが1点返し同点にすると、DeNAが1点リード、次にヤクルトが同点に・・・を繰り返す、9時過ぎに9回裏が3対3で終わりました。

翌日に大学病院での検査を予定している私としては、あまり夜更かしはしたくないところでしたが、もう1回とねばってみました。10回表ヤクルト無得点、その裏にDeNAの先頭打者関根がバント安打出塁、次打者の犠打で2塁へ、ボークで3塁と進み、次打者の内野ゴロで本塁をつきセーフ。足を使った見応えのある4：3のサヨナラゲームとなりました。

周囲の座席にいたYMCAの友人、知人の皆さんとメガホンを振って、声を合わせての応援も楽しく、時間の経つのを忘れました。

中高生時代は良く球場でプロ野球を観ましたが、このところご無沙汰でした。震災復興をこれで後押しできるとは、来年も観たくなる、応援がいのあるゲームでした。

第二例会報告

伊藤誠彦

日時：4月27日(木)17:00～19:00

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、高田、舟田、古田
協議・確認・報告事項は次の通り。

- ① 今後の行事予定の確認。
- ② 5月26日、27日予定の横浜クラブ一泊研修会のプログラムの確認、他クラブへの案内等について協議。
- ③ 千葉クラブへの転会が決まっている高田ワイズの歓送会を6月第一例会を兼ねて、6月8日18:30より横浜中華街の萬珍楼で行うことを確認。
- ④ 高田ワイズが置土産に作成して下さった「横浜クラブブリテン作成便覧」をレビューの上、確認。
- ⑤ 未決になっていた次期クラブ副会長および監事に古賀副会長、松島監事を役員会として決定。5月本例会での同意を得て最終決定。
- ⑦ 7月総会に備えて、総会用資料の作成担当者を決定。
- ⑧ その他



担当主事 青木 一弘

■横浜YMCA熊本・東北復興応援ナイター

熊本地震から1年を迎えた4月14日に、「横浜YMCA熊本・東北復興応援ナイター」が横浜スタジアムで開催されました。このナイターには、福島県などから神奈川県内に避難されている子どもたちとその家族を招待しました。バックスクリーンや会場内のビジョンには、YMCAの復興支援の内容や支援のお願いなどの映像が流れ、観戦した約2万4千人に「震災をわすれない、つながる…」想いを伝えました。5回目の復興応援ナイターとなりましたが、皆さまのご支援、横浜DeNAベイスターズのご協力に心から感謝いたします。

■横浜YMCA会員総会のご案内

5月27日(土)に会員総会が実施されます。会員総会では、2016年度の事業報告・会計報告、2017年度の事業計画・予算案、常議員の選出、会員表彰等が行われ、横浜YMCAの全体像を知る良い機会ですので是非ご参加ください。会員総会の前には、昨年実施された「国際ボランティア in タイ」の報告会を実施します。

《事前プログラム》

日時：5月27日(土)15:00～16:00

会場：湘南とつかYMCA 5階502教室

内容：2016年7月に実施した、「国際ボランティア in タイ」に参加したユースボランティアから「プロテクト・ア・チャイルド」で支援している地域や子どもたちとの交流の様子を報告します。終了後、交流カフェにもご参加ください。

《会員総会》

日時：5月27日(土)17:00～20:00(受付開始15:30)

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール

※15:30～会員総会開始までの間、交流カフェで軽食と横浜YMCAの事業紹介の写真展があります。

1. 2016年度事業及び会計報告
2. 2017年度事業計画及び予算の承認

※特別プログラム

「富士山YMCA10周年記念イベント」

3. 常議員の選出
4. 会員表彰

※当日、会場にて東日本大震災復興支援物産展、発達障がい者就労・自立支援施設・ワークサポートセンター「アンジユ」のパン販売を行います。

5月例会：一泊研修プログラム

日時：5月26日(金)15:00～27日(土)～11:00

場所：横浜市民ふれあいの里「上郷・森の家」

第一日目 26日(金) (司会 伊藤ワイズ)

15:00～ 例会・研修会オリエンテーション

開会点鐘・会長挨拶・ワイズソング

ワイズの信条・聖句

参加者紹介、プログラム紹介

15:15～ 研修I

発題「ワイズライフの楽しさを実現する」

講師 高田一彦ワイズ

16:45 ビジネス、生活案内

Happy Birthday： 齋藤宙也(19)

高田敦子(23)

18:00～ 夕食(食堂)

20:00～ 懇親会

第二日目 27日(土)

～8:00 朝食(食堂)

9:00 研修会II (司会 金子ワイズ)

「留学生日本語スピーチコンテスト」ビデオ視聴

10:00～ 自由討議(I, IIを踏まえて)

11:00 閉会点鐘 …… 金子会長

例会報告：伊藤ワイズ

6月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
3-4	土		第20回東日本区大会	川越
6	火	19:00	第77回Y-Y協議会	中央Y
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会兼 高田ワイズ歓送会	萬珍楼
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
24	土		第3回部評議会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785